

■**コルネリア** **混血女性。バタビアのオランダ人社会に溶け込みたくましく生きた。**

こるねりあ

糸割符拡大・1631= この頃、_平戸オランダ商館長ナイエンローデと日本人妻スリシアとの間に生れる。

徳川秀忠没・1632= 1歳：

鎖国令始・1633= 2歳： **父が死去。遺産は、その大きさに驚いたオランダ政府の検察官に没収され、**

母は豪商と再婚するが、

_バタビア(ジャカルタ)総督の命により、母親のもとから引取られ、

島原の乱始・1637= 8歳： **_異母姉ヘーステルとともにバタビアに送られ、当地でオランダ人としての教育をうける。**

寛永飢饉始・1640= **9歳：**

家光鎖国完成1641=10歳：

・・・・・・1647=17歳：この年、デルフト出身の東インド会社社員ピーテル=クノルがバタヴィアに上陸、

慶安御触書・1649=**18歳：**

徳川家光没・1651=20歳：

承応事件・1652=21歳：***東インド会社社員ピーテル=クノルと結婚、**

・・・・・・1655=24歳：バタビアで描かれた一家の肖像画がアムステルダム国立博物館に現存する。

明暦の大火・1657=26歳：

人身売買禁止1658=**27歳：**

_10人の子女をもうける(6人は早世)。

殉死の禁止・1663=32歳：この年母スリシアの再婚先判田五右衛門夫妻宛に出した手紙が現存。**_夫が主席上級事務員に登りつめ、**

やがて、**_バタヴィアでも屈指の裕福な市民となり、一家の肖像画を画家に描かせている。**

酒井忠清大老1666=35歳：

入鉄砲出女令1667=**36歳：**

ほかに、

・・・・・・1671=40歳：この年には夫婦連名で、同じ判田宛の手紙が平戸観光記念館に現存し、ジャガタラ文とされる。文面は自身と子供たちの近況、夫の晴れ姿などを伝え、故郷の縁老の安否を気遣い、知人たちへ上質の金巾や更紗の贈り物したことを記述。オランダ人社会にとけこみ、たくましく生きる姿がうかがえる。さらに、ジャガタラお春とも交流していたことが分かる。

東西海運確立1672=41歳：***夫が遺言書を書いて死去して、絶頂も終わるが、十分な遺産を受取り、ジャガタラお春と同じように、商売や陶器に精を出し、**

・・・・・・1676=**45歳**：***遠慮していた社交界にも復帰、東インド会社の弁護士ヨハン=ピッターと再婚するが、自らの投資計画を巡って、夫との間で壮絶な財産争いとなり、**

越後騒動・1679=48歳：判田家ではコルネリアの両親の菩提のため本成寺境内に五輪塔を建てたが、現在この塔は平戸瑞雲寺に移され、コルネリア五輪塔と呼ばれている。同寺には、**_コルネリア自身と思われるわが子を抱いた木彫像の衝立も現存。**

徳川綱吉將軍1680=49歳：

堀田正俊暗殺1684=53歳：

出世景清初演1685=**54歳：**

・・・・・・1686=55歳：広く巷に知られ、**_総督によって本国に報告され、**

日本永代蔵・1688=57歳：***夫婦別の船でオランダに赴き裁判に臨む。支えてくれた一人残った息子が船中で病死してしまうも、州裁判所から高等裁判所に控訴された後も、不服として気丈に一人抵抗するうち、**

_没したらしい。(没年不明)